2024年11月8日

各　　　位

関東電化工業株式会社
代表取締役社長　長谷川　淳一
（コード番号　4047 東証プライム市場）
問　合　せ　先
常務執行役員（広報・IR室担当）
浦　本　邦　彦
（TEL. 03-4236-8804）

前橋市水道施設更新事業への協力金の支払いに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会にて、前橋市水道局が実施する水道施設更新事業に対して、下記のとおり、協力金を支払うことを決定しましたのでお知らせいたします。

記

1．協力金支払いの経緯

群馬県前橋市田口地区周辺の水道水は井戸を水源とする田口浄水場から供給されておりますが、その一部井戸からテトラクロロエチレンが検出されたため、1989年に前橋市水道局が除去装置を設置し、汚染物質を完全に除去したうえで安全な飲料水を供給して現在に至っております。

このテトラクロロエチレンは、田口地区の北側に位置する坂東工業団地（群馬県渋川市北橘町）に埋設された当社製造のカーバイド滓に含まれていたものであります。

当社は、1961年から1963年にかけて、地権者の了解と群馬県の河川敷地形状変更許可を得て、当時河川敷であった当該場所にカーバイド滓を適法に搬出いたしました。その後、1979年から1981年にかけて、群馬県企業局が当該土地を造成したうえで坂東工業団地として分譲・販売しております（その後、1989年に水質汚濁防止法などによるテトラクロロエチレンの規制が開始されました）。

当社は、土壌汚染対策法（2003年施行）に規定している汚染原因者ではないと認識しておりますが、水源井戸に影響を与えている物質の排出者として、社会的、道義的立場から前橋市水道局と当該井戸の廃止と代替水源の確保について鋭意話し合いを行ってまいりました。

今般、前橋市水道局から、水質問題、施設の老朽化、耐震性等の観点から、田口浄水場の廃止と田島浄水場拡張整備（2030年3月完成予定。水源は利根川由来の群馬県企業局県央第二水道）の計画が示されました。当社は、以上の経緯を踏まえ、社会的、道義的立場から、当該水道施設再編計画事業を含む前橋市水道施設更新事業に対して協力金を支払うこととといたしました。

(注)テトラクロロエチレンとは、常温で揮発性が高い無色透明の液体。ドライクリーニング溶剤や精密機器等の油の除去で現在も使用されています。長時間の摂取で肝臓や腎臓への障害が認められることがあります。

(注)テトラクロロエチレンが国の水質基準値を超えて検出された井戸は、すでに休止されております。

(注)カーバイド滓とは、カーバイド（炭化カルシウム）を水と反応させ、アセチレンガス（燃料や有機化合物の合成材料）を発生させた後の残渣（ざんさ）物のこと。主成分は消石灰（水酸化カルシウム）。当社は、当時、このアセチレンガスを原料に、テトラクロロエチレンを製造していたが、その製造工程において、カーバイド滓（消石灰）を再利用していたため、カーバイド滓に微量のテトラクロロエチレンが混入したものです。

２．協力金の金額

３億円（前橋市水道局に対して 2025 年 3 月末を目途に支払う）

３．当社グループの業績への影響

協力金を特別損失（環境対策費）として、2025 年 3 月期第２四半期決算に計上いたしました。業績予想については本日発表の「2025 年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

以　上